



# 学校だより 青い鳥

平成29年度10月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成29年10月2日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381  
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



## 昔の人の感じたこと

校長 藤澤 太郎

はっきりしない天候で、カラッとした連続した秋晴れが待ち遠しいですね。植物は正直なもので、曼珠沙華がそこかしこに見られ、コスモスなんかは、随分前から可憐な花を風に揺らせています。正真正銘秋の訪れですね。季節の移り変りにかかわらず、子どもたちはますます元気です。校庭いっぱい教室も、とても生き生きとした声が響いています。今月は、修学旅行をはじめ遠足や社会科見学など、行事が盛りだくさんです。授業の内容もいよいよ充実したものになってまいりました。子どもたちには、気持ちを切り替えながら上手に過ごしてほしいと思っています。

今月はメリーゴーラウンド（以下：メリー）について調べました。これを、夢のある乗り物と捉えるか、子どもを乗せてあげたいものと考えるか？馬はリアルなほうがいいのか、デフォルメされてカッコイイほうがいいのか？そもそも何で馬なのか？ということです。

メリーの起源は9世紀のイギリス、フランスまで遡ります。当時は祭りの催し物として登場したようですが、遂に1863年にイギリス人が動力を機械化して、その時の形式が全世界に広がったということです。なぜ馬？かということ、中世の騎士たちが槍投げの練習道具として造作したことが始まりのことでした。そう言えば、大きな木彫りの馬なんかは、その頃の時代設定のヨーロッパ映画を見るとき出てきたような気がしてきました。同じように、木製のデコイ（カモ）なんかは狩猟の道具ですから、それぞれ必要があって生まれたものなのですね。

移動式でない限り、メリーは大概遊園地の中か人が多く集まる場所に現在も見られます。つまり、多少の小銭を払って乗りたい面々が集まる場所にあったということです。僕は残念ながら自分では乗ったことがありません。自分の子どもは何回か乗せました。海沿いの遊園地で、とてもゴージャスで、音楽は大きな鐘が鳴るような効果的なものでした。今でも覚えているのは、子どもの微妙な微笑みです。（写真では前を向いて笑顔で写ってます。）

ところで、この代物を、今から100年以上前の人たちはどんな思いで乗ったり見ていたのか？というのが本題です。ドビュッシーの歌曲に「木馬」があります。作詞は同じフランス人のヴェルレーヌです。この曲を含む詩集が1881年に発表されていますので、おそらく動力は流行の蒸気で、そして楽隊による生演奏のBGMという記録があります。詩の内容は皆さんの想像通り、「回れ回れ」から始まって、「だから急げ、彼らの魂の木馬よ、もう夕食の鐘も鳴っている。夜が落ちてきて、みんなを追っている～」とか、「回れ、回れ！ベルベット色の空は金色の星をゆっくりと身にまとう。～」など、詩節ごとに情景や文体がころころと変わる楽しい表現になっています。途中、「スリ師に注意！」と出てくるのは、いかにも当時の社会状況（ブリュッセルの縁日とのことです。）のようですが、相まって見ている人の楽しい気持ちがよく伝わってきます。作者はこのメリーを取り巻く世界観を詩にしたことは間違いないところです。（流石フランスの詩人で、韻を踏んだり幼児語を使ったり、スタイリッシュでお洒落な表現です。）まとめますと、当時の人たちにも、乗って楽しい見て楽しいことが前提の乗り物であるということで、決して、乗ることによって何かを得ようとか、子どもを乗せて何かを学ばせようとかというものではないという見解に落ち着きそうです。また、メリーには、昼と夜の顔があり、夜はもっぱら酔っぱらいが利用したということですから、想像するとこれも結構楽しい話ですね。今から100年以上前に、何か娯楽を！ということでメリーをつくった経緯はおおよそ理解できました。

今回は、昔の人の感じたことまでたどり着けませんでした。しかし、現在でもメリーが多数営業しているということから言えることは、乗ったら楽しいだろう！回る景色によって木馬との一体感が味わえる、いろんな考えが回り世界が回り自分も回っているということですかね？大人はこれでいいでしょう。子どもはどうなのでしょう？皆に見られて乗る気持ちは今と変わりはないと思います。分かりません。現代では、あの恐ろしいコーヒーカップに乘れない時にメリーという選択肢があるのかな？とも考えられますし、空飛ぶ象さんのようにメリーの強敵も多数出現中であることも確かです。何が面白いのか？コーヒーカップの真ん中のディッシュをぐるぐる回す人の気持ちが一向に分かりませんが、一回、真面目にメリーに乗ってみる必要がありそうです。

これから秋本番を迎えます。子どもたちには、授業を楽しみ、行事を楽しみ、季節を楽しんで充実した時を過ごしてほしいと願っています。

## 学校教育目標

あかるく なかよく たくましく